

「使っていいよ」

1歳児のKちゃんが、誰もいない3歳児の保育室に入って行きました。



大好きなミニカーを見つけると、さっそくあそび始めたKちゃん。



その時、遊戯室であそんでいた3歳児のしくんが、部屋に戻ってきました。



先生、Kちゃんかミニカーであそんどるよ。



そうなの。おにいちゃんたちの部屋であそびたかったみたい。

しくんは、Kちゃんの豆髷を、やさしくなでてあげました。



Kちゃん、いっぱい使、ていいよ。



しくん、ありがとう。

小さい子のことを思いやる気持ちか、伝わってくるコマでした。

「一緒にしよう」

5歳児の子どもたちが毎日行っている当番活動の仕方を教えてもらい、一緒に参加するようになった4歳児の子どもたち。



メニュー当番するよ。一緒に行こう。



慣れない当番活動を、そばでやさしくフォローしてもらい、安堵の表情が浮かびます。



えーと...

『今日のメニューは揚げギョウザ』って一緒に言うよ。

人数調べの時も...



今日の人数は、何人ですか？



おにいちゃんやおねえちゃんと一緒にだ

元気な声が出せます。



ぼくたちは、今日タオル当番だよ。



うん!



タオル集めに来ました。



一緒に活動することで、教えたり、教えてもらったりする喜びが伝わってきました。

ひとりひとりの成長が、うれしい季節になりました。